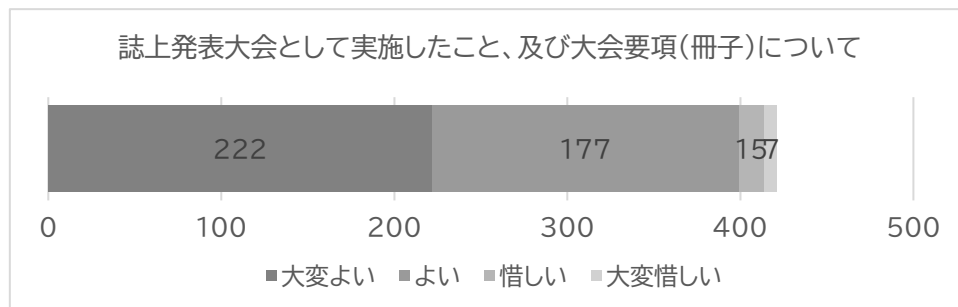


令和3年度 岐阜県小中学校教頭会 研究大会 アンケート 全抽出

回答率 69.7%(12/10現在)

1. 誌上発表大会として実施したこと、及び大会要項(冊子)について



1 大変よい

(主に開催方法について)

- 直接、お話を聞く機会がないのは残念ですが、誌面でも知ることができて参考になりました。
- コロナ禍でもできることを考え行っていたいただき、ありがとうございます。
- 感染対策を講じていただき、ありがたいです。
- コロナ禍にあって致し方ない
- 会員が参集してできませんでしたが、冊子を読むことで、各郡市の取り組みがよく分かりました。
- コロナ禍の中、できることをやるというスタンスで大変よかったです。
- それぞれの地区での実践を、集まらなくても冊子で知ることができてよかったです
- コロナ禍でも、できる形で進められ、取り組みが参考になった。
- コロナ禍において一同に会することは難しいため、誌上発表は大変良いことだと思います。
- 誌上大会になった事は、あとがきにもあるように、やむを得ないと思いました。大会要項は大変よくまとまっていて、見やすかったです。
- 冊子での交流はとてもよいです。今後も出張ではなく、この様な形態を切望します。
- コロナ禍で会員の安全を確保することが最優先であり、その点では大いに評価される。
- コロナ禍で集まることができない中、何とかできないかと工夫しての誌上発表大会。それぞれの地区で研究された成果等を見せていただいて、学ぶことができました。
- コロナ禍にあって、誌上発表は大変よいことだと思います。
- コロナ禍において適切な形と考えます。
- コロナ禍のなかでここまでしていただきありがたい。
- 時間のある時に熟読できる分量、内容が大変良いと思いました。多大な実践の中から、限られた紙面に凝縮しないといけなかった提案者の皆様のご苦労があったと思います。動画などを通すと、さらに実践内容が伝わるとは思いましたが、開催形態上からも総合的には良かったと思います。
- 研究課題に基づき、成果や課題が明確になっており、今後の学校運営に生かすことができると感じた。アフターコロナにおいても、今回のような誌上発表としても良いと思われる。
- このような時期なので適切な判断だと思います。
- コロナ禍において、教頭会の研究大会を誌上発表として実施したことは、適切であったと思います。来年度もコロナ禍での開催となれば、研究副部長の提案にあるようなオンライン配信型での開催、あるいは、今年度の東海北陸福井大会のような、参集型とオンライン型を組み合わせたハイブリッド型での開催を試みてもよいのではないかと思います。
- 発表者の負担が減りよいと思う。
- コロナで仕方ないと思いました。
- こんな状況下でもできることを工夫して実施いただき感謝します。
- 一箇所に全教頭が集まって開催する手間、時間、労力を考えると、このようなスタイルで実施した方がメリットが多いと考えられます。誌上発表でも、十分言いたいことが伝わりました。
- 集合型以外の開催を今後も前向きに考えたい。
- コロナが落ち着かないため、誌上発表にしたことは仕方がない。
- できるだけ負担を減らす方向ですすめて欲しいです。
- 対面での開催が難しい中、事務局の皆様の御尽力に感謝申し上げます。
- 働き方改革の面からも今後この形式の開催が良いと思います。
- 各地域の学科での取り組みをゆっくり読むことができた。集まって会を開くと、自分の関わる部会の取り組みしか読まないことがある。今回、さまざまな研究課題に対する教頭としての取り組みを、じっくり拝見することができ、とても参考になった。
- コロナ禍の中で、大変適切な実施方法だったと思います。管理職の集まる大会で、何かあっては誤解も生ずるので、よかったと感じています。
- 移動もなく、学校業務への負担を軽減できた。企画運営に携わっていただいた全ての皆様方に感謝いたします。ご尽力された皆様方に敬意を表します。
- コロナ禍でもできる方法で実施できてよいと思います。
- 発表に向けて準備された先生方の話を聞けないのは残念でしたが、大会要項も見やすく分かりました。働き方改革のことを考えると、今後も誌上発表会でいいのではないかと思います。
- 要点を分かりやすくまとめたので、各地区の取組の様子がわかった。
- 業務の軽減にもなり十分な内容と感じました。
- 本年度はやむを得ない対応だったと思います。冊子も読みやすかったです。
- 誌上発表も大変だったと思いますが、ご尽力いただき有り難いです。
- コロナ禍での開催として適当だと感じた。
- 県内の人の動きを考えると、誌上発表で十分伝わる
- コロナ禍に開催するには、この方法しかなかったと思います。冊子も大変見やすく編集がしてありました。準備、作成ありがとうございます。
- コロナ禍において、県内各地区の実践を交流して学ぶための合理的な方法であると思います。誌上開催は、感染症拡大予防として大変よかった。大会要項については、端的でわかりやすかったです。
- コロナ禍に関わらず、どの学校も工夫し、進められていることが素晴らしい。
- コロナ禍では、こうした形で行うことが望ましいと思う。コンパクトにまとめられ、読みやすいというよさがある。ただ、やはり実際にお聞きしたいという思いはあり、読んでみて、もっと詳しく聞きたいと感じた。こうした冊子作りに尽力された関係者のみなさま本

当にお疲れ様でした。

- 現時点でできる最良の方法での開催と考えます。
- コロナ禍の中で実施していただき、ありがたい。冊子はスマートで見易い。
- コロナ感染防止への対応から、誌上発表となったことはやむを得ないことであると思います。また、発表者の先生方にはプレゼン等の準備の必要がなく、利点も多くあったことと思います。発表のための準備時間が多く割られることを考えると、誌上発表のメリットも大きいと思います。資料をじっくり読むことができ、良かったです。
- 日頃、幅広く学校間の交流をする場がない中、それぞれの研究課題についてのご実践や今後の課題を知ることができ、大変ありがたいと思います。自校の職員にも広め、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。
- 充分だと思いました。
- コロナ禍の影響を考えつつも、できる範囲でできる交流を行い、学び合うことができました。
- 都合の良い時間に読むことができてよい。
- 自身の研修にも役立ちました
- コロナ禍では、集会方式は難しいので誌上発表はよかった
- いつもの年と違うことをやることはとても大変だと思います。お疲れ様でした。
- 誌上発表で十分いけるので、この方法でよいと思います。
- 資料提言者としては、市教頭会で、資料作りの相談や資料完成後の交流ができたことが良い機会となった。
- 両方ともとてもよい。
- コロナ禍でできる最善の方法だと思う。冊子も見やすくてよい。
- 現状では集会型での実施は難しく、誌上発表大会での実施が適切であったと思います。
- 現状の中、最適な発表の方法を模索されて実施できたことは素晴らしいと感じます。要項についても、各郡市の提言と思いが端的にまとめられた内容から伝わってきました。
- 業務削減にもつながる
- ”コロナ禍で校務が忙しい中、紙上発表大会を実施していただき、ありがとうございます。大会要項の表紙も県内各地の写真があり、西濃地方出身ですので、久しぶりに千代保稲荷神社を訪れたいなと思いました。
- 大会の参加方法が、冊子の帯に書かれており、大変わかりやすかったです。”
- コロナ禍で誌上発表大会になったことは致し方ないと思います。各地区の教頭先生方がどのような実践をされたのかを学ぶことができてよかったです。
- コロナ禍で、密を避けるために仕方がないことだったと思われませんが、冊子から、どの分科会も内容が読み取れるよさがあるなと感じました。いろいろご準備をありがとうございました。
- コロナ禍の現状で、無理なく効率のよい方法だったと思います。
- 密を避けるだけでなく、会場までの移動等を考えると負担が減った事は大変よいと思います。
- コロナ禍のため、誌上発表大会が、適切であったと思います。大会要項を読み、教頭の役割や地域との連携の仕方など、様々な提案があり、大きな刺激となりました。
- QR コードのアンケートが良い
- 移動時間がとられることなく良い
- コロナ禍の中、こうした大会の在り方はとてもありがたい。
- コロナ禍において、誌上発表での実施はやむを得ない。要項は分

科会ごとにまとめられ見やすく適度なボリュームだった。

- 感染予防という点からも誌上発表での実施はやむを得ない。要項は非常に分かりやすく、読みやすかった。
- コロナが続く中、集合型は、難しいことを考えると、誌上発表は一つの方法であると思う。
- 移動の必要がないのはありがたいと思います。発表者の負担も減ると思います。
- 研究を続けてきた内容が、このような冊子と残ることは大変ありがたい。研究実践の積み重ねとして、このように(アナログな形で)残っていくことは、今後も続けていくとよいと考える。
- 誌上発表していただいたことで、繰り返し何度も見ることができた。
- こんな時期で手軽に研修でき、ありがたかったです。みんなが受けられます。
- ウェブでいいと思います
- 誌上発表とすることで、提案内容がよく理解できることがよいと思った。
- 現状の中で、可能な形で実施されたことは、ありがたいことであると感じています。
- コロナ禍でできる最大限の実践すばらしいです
- コロナ禍であり、今年度もこのような実施方法でよかったと思います。
- 現状の社会情勢では、最適の選択かと感じました。ありがとうございました。
- ”誌上発表だ出張して学校を不在にする必要がなく、時間的に余裕が生まれます。
- 誌上発表だからこそ、冊子をじっくり読むことができました。”
- コロナ対策として紙面開催での実施は、よかった。
- コロナ禍の状況で、適切に対応していただけた。
- ある程度の期間で視聴できるようになっており、さらに、学校を不在にすることもなく、いろいろな学校の取組が学べたことはよかったです。
- 働き方改革の一環として、誌上発表や web の活用も今後は必要かもしれないと感じました。
- 集まらなくても、県内各市町村の実践を知ることができる
- なかなか時間がないので、誌上発表会により、自分の都合のつく時間に読むことができ、ありがたかったです。
- 中止とすることなく、冊子での研究大会を実施するという思いが素晴らしい。
- コロナ禍でも完全中止とせず、誌上提案して下さったことに感謝します。
- 学校現場が多忙な中、出張による大会参加が困難な場合もある。今後も誌上発表でよい。
- 実際に話を聞いた方がよいとは思いますが、学校や業務を離れることを考えると、紙上で行ったことはよかったと思う。
- 冊子作りを担当した方は大変だったと思います。お疲れ様でした。大変立派な冊子で、財産になると思います。これならコロナが収まっても集まって大会をやらなくてもよいと思います。コロナで得た成果を元に戻すだけの発想だけはやめていきたい。
- コロナ禍においてはよかった
- コロナ禍の中、工夫して取り組んで下さったことに感謝します。
- 会を開けない中でも、それぞれの地区で交流した内容が発表されたことは有意義であった。
- コロナ禍で集まることができない中、実践例や情報が得られてよいと思います。

(主に開催方法について)さらなる願い、提案意見

- 紙面発表とするには勿体ない実践が詰まっていた。ぜひ、さらなる資料が読みたい。一方で発表される先生にとっては、負担軽減になったのかもしれないと感じました。
- もう少し具体を聞いてみたい提言(第2A や第3分科会)もありますが、誌上では限界があり、質問先等が示されていると良いが…などと思ったりしました。
- コロナ禍の状況では、今回のように誌上発表大会で行うのが、ベ

ストであった。参集型に戻せるとよいが、今後オンラインを含めて検討する必要があると思います。

- コロナ禍後は集合型でやれるとよい。冊子は簡潔にまとめられており、分かりやすい。
- 本来はライブでお聞きしたいところですが時代の流れとして致し方ないかと。
- 提案だけでも十分であるが、質問を受け付けるフォームや、提案

校のホームページにこの提案の参考資料をアップできるとより学びが深まると考える。

- 大会要項による紙上发表は、昨年・本年とやむを得ない事態であったと推察します。要項は大変参考になりますし、貴重な実践資料であると思います。ただ、やはり実際に参集型で発表を拝聴すると、要項には記載されていない裏話や、ご苦労、達成感が伝わり、私共も新しい活力を生みやすいのではないかと思います。来年度は是非参集型で開催されることを望みます。
- 出来たら、実際に話を聞き、工夫の内容が知りたかった。
- 社会情勢上、懸命な措置と考えます。また、誌上发表とする以上、今回の内容がベスト(本当は詳細を聞きたいのはやまやま…。
- コロナウイルス感染症の状況から仕方がない。直接話を聴く方が理解しやすい。
- 具体的な研究内容を掲載するための実践がコロナ禍の中、行われていることに…感動しました。詳細を知りたいと思うと、やはり、参集型、動画によるオンラインなのでしょうか。しかし、紙面提案であっても、それに費やす労力にはかわりなく… 関係者の皆様、ありがとうございました。
- もちろん直接話を聞いたり質問したりして学ぶ方が、お互いの知識を広げ合うことにもなり良いと思うが、現状でできることとして、今回のように QR コードで意見を送信するというのも良いと思います。中止にするのは簡単ですが、生まれるものは何もなく、学びはありません。やれる形を模索しながら実施する方が、大切なことと考えます。係の方々にお骨折りいただき感謝です。
- 直接実践内容をお聞きするのが一番だとは思いますが、コロナ禍では最善の方法であったと思う。冊子も大変分かりやすく出来ていた。
- 大変わかり易くまとめられた要項で、それぞれの教頭会の真摯な研究実践が伝わりました。より詳しく知りたい部分もありますが、個別に問い合わせる窓口なども開かれているとありがたいと思います。
- それぞれの発表内容が分かりやすくまとめられていてよかったです。こんなことを聞いてみたいということをタイムリー聞きたい人もいたと思います。しかし、このコロナ禍では無理なので仕方ないです。

(主に冊子について)

- 装丁、内容共に質が高いと感じました。
- コロナ禍で制限の多い中、研究や紙上開催等を進めていただき、ありがとうございました。各研究課題について、自分自身の課題につながる内容や取り組みを見つけて活用したいです。
- このコロナ禍の状況でも、研鑽していることと熱意が感じられる冊子でした。研究を深められた過程が端的に分かりやすくまとめられていて、とても参考になりました。
- 端的にまとめてあるためとてもわかりやすいです
- 冊子は見やすくわかりやすいと感じた。
- 各地区とも端的に実践がまとめられていて、参考にしたいものが多くありました。
- 大会冊子の内容が端的で読みやすく感じました。
- 提言原稿を作成していただいた先生方、お忙しい中本当にありがとうございました。直接声をお聞きすることができず残念でしたが、自身の役割について、改めて考えるきっかけとなりました。
- それぞれの時間のある時にじっくりと読めるのがよいと思う。
- 教頭として、さらに力を高めたいと感じた。
- 各校とも、特色がある取り組みだった。
- 簡潔で、わかりやすかったです。
- 簡単にまとめていただき、わかりやすかったです。ありがとうございました。
- それぞれの地区で、テーマをもって研究、研修がなされ、それを交流し合うことはとても良いことです。コロナ禍においてもこのように冊子を発行し、学び合うことができ、とても良かったと思います。ここから学んだ事を今後の実践に生かして、出来る事から行動にうつしていきたいと感じました。
- 実践の具体を端的に示してあり、活用しやすい。
- 教頭に求められている課題や方法が端的にまとめられていて、今後自分自身が考えていかなければならないことの示唆を得ることができました。

- 提言を直接拝聴できないことは残念だが、コロナ禍に伴い業務の負担が増していることを考えると、誌上での実施が妥当であったと思います。
- 研究大会要項がシンプルにまとめられており、よかったと思います。コロナ後には、対面による研究大会が行われるようになることを願っています。
- 誌上は、簡潔にまとめられているので、要点伝わるが、具体的な中身は読み取れたかは、不安である。
- 参集して直接学び合うことができなかったのは残念ではありますが、このように各地区での実践を読ませていただき、とても刺激になりました。
- 今年度のコロナ禍を考えると、そうせざるを得ないものと思います。
- この状況下では、誌上发表大会でも致し方ないと思います。冊子はコンパクトにまとめていただき、ありがとうございました。
- コロナ禍であったので、誌上发表会もやむなしだと思います。冊子も実践が難しい中、それぞれが工夫されてまとめられていてよかったです。
- 現状を鑑み、この形態での実施はやむをえないと考えます。
- ”来年こそは、集まれるといいですね。
- 係の先生方、ありがとうございました。”
- コロナ対策がとられていてよい。県内の教頭先生方にお会いできないのは少し寂しい。
- 具体的な発表を伺うことができないことは、残念ですが、コロナ禍において誌上发表にいただいたことは良いと思います。
- コロナ禍でやむを得ない。発表者の負担減はよい。
- コロナ禍のため、誌上发表大会となったのは、致し方ない。
- コロナ禍でもあり、誌上发表ということは当然だと思います。大会冊子についても、丁寧に作っていただきありがとうございました。教師も一人1台タブレットがあるのでpdfバージョンでどこかで入手できるとありがたいです。
- 集散方の大会の経験がないので分からない

- 誌上とはいえ、各都市における実践を教えていただいたことは、非常にありがたいことだと感じた。
- コロナ対応の傍ら、こうした大会要項をまとめていただいたことに感謝いたします。
- コロナ禍で研究を続けられてこられたこと、本当に頭が下がります。お疲れ様でした。
- 多忙な教頭先生方が時間をかけて作ってくださりとても参考になりました。ありがとうございました。
- 色づかいなどきれいで、読みやすい。
- よくまとめてあります
- 効率よく各校の実践を知ることができ、時間短縮にもなり、よいと思います。限られたスペースではありますが、資料提案であっても、写真や図などを掲載してイメージしやすい工夫がなされていると感じました。
- 担当の方のご尽力に、頭が下がります。
- とてもよくできている。来年度も継続したい。
- 気になるところを繰り返し読めるのでよい。
- コロナ禍の中でも各地区の教頭の動きが知ることができるといい機会となった。
- 冊子でも各教頭会のとりくみがよくわかる。
- コロナ禍においても、実践や事例を学ぶ機会を頂けたことは、大変勉強になります。また、自校の教育活動のヒントにできるので、来年度の構想に生かしていきたいと思いました
- 全体的にわかりやすそうすっきりまとめてあります
- 不登校、不適応、若手の育成、システム化など同じ課題を日々感じているので、大変参考になりました。
- 各地区での取組が参考になった。
- どの部会も、よく練られた実践発表でした。
- 読みやすく内容も共感できることばかりである。
- 量的にも、内容としても、読みやすいと感じた。

- どの地区も研究課題に向けて励んでおられることが伝わってきました。
- 具体的で、参考になりました。
- お疲れ様です。とても良いです。
- それぞれの素晴らしい実践が、活字となってわかりやすく、何度も見返すことができました。
- 要点が簡潔にまとめられていて良い
- 読み応えのある実践ばかりだった
- 大会冊子を読んだ。
- すっきりとまとまっていて読みやすかったです。
- 各地区の研究内容がよくわかりました。
- 簡潔にまとめられていて、良いと思います。
- 他都市の取り組みが紙面でも学べる
- 各分科会の研究課題は喫緊の課題であり、今後の教育活動のあり方の指針を示していただき、大変役立つ内容であった。誌上発表も働き改革の手段になり得ると考えます。
- 分科会ごとに内容が端的にまとめてあり、非常に読みやすく、実践内容や成果と課題などこれからの現場に役立つ内容ばかりです。
- コロナ対策や地域に根差した教育、教職員の専門性の向上等魅力ある学校づくりに向けて、具体的な実践が掲載されており、大変勉強になりました。
- 時間をかけず各地区での研究成果を知ることができる。
- 他地域や他学校の現状や取組を知ることができてよかった。
- 各地の先生方が、業務の充実や削減のために努力されていることがよく伝わりました。
- 立派な冊子をありがとうございました。シンプルでよくわかる内容でした。提言都市に負担をかけず、学び合えるものだと思います。
- わかりやすかったです
- それぞれの地区の地域性を生かした取組は大変参考になります。
- 各地区の研究成果を、じっくり読んで理解できた点は良かったです。
- 伝えたいことが明確であった。
- 各実践が端的にまとめられており、限られた時間の中で実践を理解するのに適切だったと感じています。
- とてもコンパクトにまとめてあって、大変読みやすかった。
- 冊子として見直すこともできる。今の時代にはよくあっていると感ずる。
- 誌上でも大変参考になった。
- コロナ禍の中他の市町の実践を知ることができてとてもよかったです。
- 分科会のテーマについてわかりやすく、端的にまとめられていた。
- コロナ禍で、このような大きな大会を実施できたのは、ひとえに関係皆様のご尽力の賜物で、本当にお疲れ様です。喫緊の課題に対し、参考となる提言が、こうして文字に残ったのも、今後大いに活用できるのではないかと感じました。ありがとうございました。
- 岐阜県の教頭先生方の実践が端的にまとめられており、教頭とし

- ての働きかけをもっとしなければいけないなど反省するとともに、自分自身のモチベーションを上げるきっかけづくりになった。
- 提案が参考になりました。
- 大変読みやすく、すっきりとしていて良い。
- レイアウトなど工夫されていて、とても読みやすかった
- たくさんの教頭先生の実践がわかり、参考になった。
- せっかくの実践を 2 ページにまとめるのはたいへんなことだと思いますし、言い尽くせないところがありだと思います。オンラインで行うことも今後ありなのかなと思います。
- 大会が中止ではなく、冊子をいただけるだけでもありがたいです。
- 新型コロナウイルス感染症の対策として中止が相次ぐ中、継続した研究を大切にしその取組や成果課題を紙面での交流をすることができ、素晴らしいと感じました。また、その内容も、たいへん充実したものになっていると感じました。
- 誌上発表ありがとうございました。見やすく分かりやすかったです。
- 各地区の取組がわかりやすくまとめられていた。また、自校の実践に活かしてみたい、というヒントになる実践もあり、よい実践がなされていた。コロナ禍であり、誌上発表会ができてよかった。
- 各地区の教頭先生方が実践されたことを参考にできるので、貴重な場となりました。ありがとうございました。
- 大変見やすい冊子であること、中身も精選されていてよくまとめられていること、それぞれの分科会のテーマが幅広く、参考になる内容が多いこと等、読みながら勉強させていただけることが多く有難かったです。
- 読みやすく、分かりやすくまとめていただき、ありがとうございました。
- どの分科会の提案も 2p でまとめられており、わかりやすい。
- 喫緊の課題に対する成果がまとめられており、大変勉強になりました。
- 魅力ある学校作りに向けての基調提案等より深く学ぶことができた。
- 効率よく理解できて良い
- 提案が明確で大変参考になった。
- 教頭としての働きかけ方などが、具体的にいろいろあって参考になりました。
- 感染状況が心配される時であったため誌上発表大会でよかった。要項もカラーで読みやすく分かりやすい内容であった。
- どの地区も端的にわかりやすい実践内容で、参考になりました。
- 取り組みの様子がよくわかった。
- 普段の激務に加え、資料作成までご尽力いただきありがとうございました。
- コロナ禍でも学ぶ機会を得ることができ、大変ありがたく思います。
- 端的にわかりやすくまとめられていて、内容がよくわかりました。
- 提言内容は誌面でも非常にわかりやすく、十分研修できると感じた。

2よい

(主に開催方法について)

- 誌上であっても継続することが大切だと思う。
- 発表者の負担軽減になりよいと思います。
- 働き方改革を考えると簡略化する方向も考えてよいと思う。
- コロナ禍ということ考えると妥当だと考えます。
- 感染対策及び働き方改革の観点からよかった
- 誌上は、コロナ禍では仕方ない。
- コロナ禍を考えると、このようなやり方も致し方ない
- 今年度も仕方ないと思う。
- 冊子を厳選し、見やすくしたことやアンケートによる意見交流を位置付けたことで参集型開催とほぼ変わらない開催になったと思う
- この中で集合型の研修会ができなくなっているが、このように冊子を作って実践をまとめられたことはとても有効であった。
- コロナ禍のため誌上発表はやむなしだと思います。その中で大会要項を作成いただき大変感謝しております。

- 状況から鑑みれば、この実施方法は致し方ないと思います。
- コロナ禍においてはベストな対応だったと思います。
- 誌上発表大会であっても、実践を共有できたことに感謝します。冊子も綺麗にまとめられており、大変分かりやすかったです。丁寧な原稿を提供いただいた先生方に感謝しています。
- コロナ禍という特殊な状況下でのようなことが行えるのかという視点でも学ぶことが出来ました。その意味において今年の冊子は例年以上に価値のあるものだったのではないのでしょうか。各市の教頭先生方、貴重な提案をありがとうございました。
- コロナに振り回されながら、何度も何度も変更を余儀なくさせられたのだと思います。お疲れ様でした。
- このコロナ禍での参集開催は難しい。それに加えて、教頭が学校を空ける機会が減ってよい。
- コロナ禍でも、研究発表会を実施していただければありがたいです。

- じっくりと提案文書を読むことができ、誌上提案なりの良さもある。
- コロナ禍で参集型の実施は困難であるため、誌上発表大会で仕方がないことだと思う。端的にまとめられ、参考にしていきたいと思う実践もたくさんありました。
- 無理のない範囲で行うことが大切だと思います。
- 誌上大会にさせていただいたことにより余裕をもって資料を読むことができました。
- このような状況の中での開催は難しいと思うので、誌上でよかったですと思います。
- コロナ禍において できる形で実施していただけてよかった。
- 新型コロナ感染症の拡大状況に合わせた開催ありがとうございました。
- 毎回これでよい。
- 集合型の大会でなくても成り立つのであれば、もう集まる必要はないように思う。管理職は基本的に職場にいたほうがよい。
- 充分だと思う。
- コロナ禍においても、実践の具体が共有できることがありがたい。提言して下さった地区の皆さんに感謝したい。
- 直接お聞きすることで自信の悩みや課題が解決することもあります。多忙な中で出張の負担が減ることもあり、どちらがよいのか判断が難しいです。
- 顔を合わせ交流はできなかったが、時間的にも有効な方法だと思う。
- やむを得ないことかなと思います。
- 誌上大会といえども大変内容の濃い提言であり盛会となったと思います。ご提案いただいた先生方には心より感謝申し上げます。今後も県教頭会のつながりを大切に、勤務校での実践に生かしてまいります。
- 誌上発表にも関わらず、熱心に取り組み発表していただいたこと、ありがたく思います。
- まず教頭が、コロナに対する危機意識を「誌上大会」という形で示したことがよい。
- 何より実施できたことが良かったと思います。大会に関わって下さった先生方、ありがとうございました。
- 直接、発表を聞くことはできないが、各市の実践を知ることができて、学びがあった。
- コロナ禍で参会できない中工夫しての開催をありがとうございました。今日の課題に沿っての取り組みがまとめられていて学べました。
- 感染症対策として誌上発表会は適当だったと思います。
- いつも同じことの繰り返しではなく、新しい方法ができたことはよかった。
- 現状では良い方法であると思われる
- コロナ禍の中での実施を考えたとき、こういった誌上発表大会は有効だと感じました。様々な準備や作成は大変だったと思いますが、簡潔にまとめられていてわかりやすかったです。
- 本来なら直接に発表や意見交流することに意義があると思いますが、現状ではこの形式がベストだと思います。
- お疲れ様でした
- 遠方に行かなくてすんでよかったです。コンパクトでよいです。
- コロナ禍であることに配慮した誌上発表大会は、適切な判断。
- コロナ対策としてよかった。
- コロナ禍での最善を尽くした策だったと思います。ありがとうございました。
- コロナ禍ではあるが、教頭会としてできることを行うことはよい。
- コロナ禍で、工夫していただいたと思います。
- コロナ禍の中でできる形で実施されていると思います。
- 本来なら、参集の上、写真なども使って詳しくお話しされるのを拝聴できたらよかったです。相変わらずのコロナ禍のため、このように工夫して下さったこと、感謝しています。見開きに、端的にまとめて下さりましたので、とても読みやすかったです。
- コロナ禍において、できる方法を考えていただいたことは良かったと思います
- コロナ対策として、今年度は良い方法だと思う。
- 感染状況等を考えても妥当であったと思います。冊子についても端的に示されており、よいと思いました。
- 誌上発表大会を早い時点で決定したことは、事務局のよい決断だったと思う。冊子は簡潔にまとめてあり、わかりやすい。
- コロナ禍の現状において、誌上発表の方法は妥当であると思う。大会要項はコンパクトにまとめられていて読みやすかった。
- 学校体制としてなかなか出張に出ることができない状況であるので、紙面発表になったことはよかった。
- できる形で実施することでよいと思います。
- コロナ禍で集まりにくいなか、工夫していただきありがとうございました。
- 参集しての研究会には及ばずとも、各地教頭会の実践を学び合える機会となり、意義は大きかったと思います。
- 感染状況に応じてできる範囲で実施する方向でよいと思います。
- コロナ禍の中、まだ参集することのリスクがあるため、誌上発表としたことは賢明な判断だと思います。中心ではなく、誌面での提案、報告であっても実践などが伝わったと思います。
- コロナ禍で何とか開催されよかったです。
- コロナ禍においての方法としてだけでなく、今後の会のあり方の一つとなると感じた。

(主に開催方法について)さらなる願い、提案意見

- 紙面開催となり立派な冊子をありがとうございました。やはり紙面だけでは伝わりきらない具体的実践内容について、発表形式で行い、小グループで討議することに勝るものはないと感じました。
- 負担が少なく助かるが、皆さんのお顔を拝見できないのが寂しい。
- ”遠方から集まらなくてもよい、移動の時間を削減できるといったメリットがあります。一方で、紙面では伝えきれないものどかしさも伝わってきます。また、より深くお聞きしたくもなります。
- 実現は困難かもしれませんが、提案動画の掲載や双方向のビデオ会議システムの活用など、今後の検討としていただけますと幸いです。
- おそらく、集合型の実施の可否を判断する時期の見極めや運営の難しさがあると推察しております。ありがとうございました。”
- 参集型ではないゆえに、書面をしっかりと読みこむこととなり、書面開催でも内容は十分に理解できた。しかしながら会長が述べられている通り横の繋がりの機会が減ることは残念である。
- やむを得ない
- 各地区の取り組みを知ることができて、よかった。だからこそ、オンライン又は参集型で話が聞けると、さらに良いと思った。
- まず、このような状況なので、紙面であっても大会として実施できたことが良かったと思う。欲を言えば、リアルに発表を聞き、周りの先生方と交流できれば良い。
- 大会要項についてはカラーで大変見やすく、活動の様子がよく分かりました。しかし、実践の背景には多くの手間や苦労があったと思うのですが誌面だけでは伝わりにくいように感じました。動画配信でもよいので説明があるとありがたいと思いました。
- 準備は大変かと思いますが、やはり、実際に見聞きする方が、熱量が伝わると思います。
- 新任教頭として本年度から教頭会に参加しています。大会は参集型が良いと思いますが、誌面であっても、教頭としての役割や実践例がよくわかり、勉強になりました。
- Web 配信があってもよかったのかも、と思いました。
- 冊子だけでは伝わりにくいところもあるため、プレゼンや発表動画などを期間限定で視聴できれば理解が深まる。負担の少ないところでできればよいです。
- できれば実際にお話を聞き、質問ができれば一番良いと思います。しかしコロナ禍でそれは無理なため、このように紙面で発表頂いたことは大変ありがたいです。
- 実際に発表を聞かないことは残念だが、コロナ禍でも教頭として

の研修を推進していく上では、このような誌上発表は最善の策であると考えます。

- ”実際に発表が聞けなかったことは残念ですが
- 冊子よく分かりました”
- デジタル化が進んでいるので、冊子の作成について要・不要の検討をしてみてくださいと思います。教師がタブレットを持っているので、期間・参加者を限定した閲覧も十分に可能かと思えます。
- コロナ禍での開催で誌上発表大会という形でしか行えなかったのはとても残念だった。大会要項を熟読し、これからに生かしていきたいと思った。
- 移動時間等を考えると効率的であるが、実際の会場で顔を合わせることの大切さも感じる
- 各学校の取組について交流できなかった点では残念だった。
- それぞれのご実践の中の表や構想図など、詳しく見たいと思いました。
- コロナ禍がおさまったら、ぜひ直接他の教頭先生方のご実践を拝聴し、勉強させていただきたい。
- 致し方ない。ただ読んでいても今ひとつわからない。参集型の経験が全くないのはどうなのか、とたしかに思います。
- 働き方改革にはなるが、出会いを通しての学びがなかった点が残念。
- 各発表を直接聞くことができなかったことは残念であったが、遠方への出張がなくなったことで、学校にいられることができたことはありがたかった。
- 誌上発表は仕方ないが、ぜひ参集型が復活することを願います。貴重な提案や意見が交流できるので。冊子の内容も分かりやすかったです。やや豪華すぎる感はありますが、ありがとうございました。
- 実際のお話を直接聞きたい思いもあります。
- コロナ禍の中、仕方ないことだと思います。冊子の内容については特にありません。
- 読みながら、疑問に感じたことを調べたり、自校の取組と比較・関連付けたりして、実践を省察することができました。参集型であると、多くの先生方との対話をとおして、より深まりのある研修になると感じています。
- 遠隔地からの参加は、体力的にも精神的にも、負担が大きい。しかし実際にお会いして、資料を見せていただきながらの従来の形もよいと思う。
- 冊子にまとめて下さったことで喫緊の課題や話題、その取り組みがよく分かり、大変参考になった。生の声を聞くことはできないが、コロナ禍だからでなく、参集の有無は研修内容によって今後とも

(主に冊子について)

- 特にコロナ禍の対応から、いかにここでのスリム化を次に繋げていけるのか、大事にしたいと思えます。
- ご苦勞様でした。とても良い出来映えの冊子だと思います。データを各校に送りそれぞれ印刷・製本すれば費用が削減できると思えます。
- コロナ禍でも、研究を継続することが大切。
- いろいろな分野について書かれてあり、参考になる。
- 地域との関わりかたや職員の管理も含めたマネジメント、ICT の活用など、やらなければいけない業務がたくさんあることを再確認しました。できることから迅速に対応したいと思いました。
- コロナ禍の中、各地域の特色を生かしながら参考になる活動が勉強になりました。
- 日々の業務の中で、テーマを決めて取り組まれていることが、素晴らしく感じました。視点を自分の職務の中で生かしていきたいと思えます。
- 前任校の取り組み、地域連携の具体がさらに深まっており学べました。
- 誌面からでもいろいろ学ぶことができた。
- 端的にまとめられており、大変参考になります。
- 教員の資質向上に向けて今日的な課題に対しての具体的な実践がとても参考になった。
- それぞれの市町村で、課題別に分けて実践がまとめられ分かりやすかったです。

りはりをつけていけるとよい。

- 実践から学ばせていただけることはありがたい。世情にもよるが、分散型であっても参集型開催の中で、生の声を聴きたい。
- 冊子で十分提言内容はよく理解できます。ただ、東海北陸大会のように動画でプレゼンを聴くと大変理解しやすいとも思いました。
- 誌上発表は仕方ない。冊子は分かりやすかったです。
- 紙上開催はコロナ禍で仕方ないと思う。
- 県内の各地域の特徴的な取組みが知れてよかった。出来れば、プレゼン等で具体的実践が学べると良かった。コロナが落ち着いて大会が開かれることを願います。
- 誌上発表になったことは残念な面もありますが、様々なことに配慮して形を変えて発表大会を実施していただいたことはよかったと思います。
- 誌上でもよくわかりましたが、より詳しく知るためには、やはり、より細かい実践を知りたいと感じました。
- コロナの影響で参集型ができないことは致し方ないことだと思います。そんな中でも実践を交流する手立てとして、研究冊子を作成していただいたこと、また、この冊子へ寄稿してくださった先生方に感謝申し上げます。
- ”誌上発表会は、仕方ないことだと感じています。
- 冊子を理解できるまで読み直し、よく考えることができるよさがあると感じました。”
- ”生徒指導の対応に追われ、多忙な日々を送る中、参集型の大会への参加の負担感を感じていたため、誌上発表はありがたかった。
- しかし、誌面では情報量や表現に制約があるため、プレゼンによって視覚や聴覚を通してほうが伝わることも多いと考えられる。”
- web開催の方が伝わるのではないかと思います。
- ”各地区ごとに、今日的課題に向けて、教頭としての役割の具体を知ることができ、有益であったが、やはり、実際にオンラインでお話を聞けるとよかった。
- ”
- 紙面開催でよかったと思うが、双方向という点については、少し課題もみられる。
- 開催方法については、仕方ないと思います。冊子については、参考にさせていただきます。
- 忙しい職務の中、端的にまとめられて知りたい項目をいつでも参考にできる手軽さがよいと感じる。ただ、生の声の大切さもあるとはおもっている。
- コロナ禍の中では仕方ないところではあるが、生の声を聴く機会が無くなるのは寂しい。
- 簡潔かつ的確に主張がまとめられており、たいへん読み易くまた参考となりました。
- 簡潔にまとめてあり、わかりやすい
- ”適量で良いと思えます。
- ”
- 教頭会でじっくり読む時間を確保してもらい、よい研修となった。
- どの提言も各地域の実態に応じ取り組まれています。学ぶことが多くありました。
- 端的にまとめてありとてもわかりやすい。
- とても立派な冊子をつくっていただき、ありがとうございます。ご苦勞さまで。
- 具体的な提案でわかりやすかったです。
- 内容が精選されていてよいと思えます。
- 参考になることが多く、実践したいと思いました。
- わかりやすくまとめられていた。
- ”コロナ禍ではあるが誌面で開催できたことはよかった。誌面提案していただいた教頭先生方
- ありがとうございます。”
- じっくりと提案文書を読むことができ、誌上提案の良さもある。
- 対面での発表もよいですが、誌上発表は、じっくりと読み込むことができるとよいと思えます。
- 他校の実践を今後参考にしたいと思いました。
- 提言者の皆様、ありがとうございました。

- わかりやすい提案で、よかったです。表紙の工夫が素敵でした。
- 大変見やすい。誌上であるため、内容がいつでも確認できるころがよい。
- コロナ対応に配慮しながら、他地区のさまざまな取組を知る機会になった。
- 分かりやすくまとめたいただきありがとうございました
- 工夫ある実践が多く見られた。
- 様々な学校の実践を学ぶことができました。
- コロナ禍でもできることを精一杯やろうという前向きな取組として、価値ある実践だと思えます。冊子に寄稿された先生方のご努力にも頭がさがる思いです。
- それぞれの実践がよくわかり良かったです。
- コロナ禍のため、誌上発表は、やむを得ないと思います。冊子は、カラー印刷で、とても読みやすくまとめられていました。
- 端的にまとめられており、勉強になりました。
- 大変読みやすいレイアウトでした。
- とてもわかりやすい要項になっている。カラーになっていて見やすい。
- それぞれの教頭会の取組がよくわかり、今後参考になる資料になる。
- 提言が整理されており、大変分かりやすい
- 要項は大変見やすく分かりやすかった。
- 県内の学校の取組が分かり、参考になった。また、誌面も大変読みやすく端的にまとめてありよかったです。
- 冊子にすることで情報が精選され、大変わかりやすくなり何度も見返すことが可能にもなり良いです
- 教頭としての役割が、コンパクトに明確に伝わってきてよいと思いました。
- コロナの中、工夫して人と人とのつながりをしていること大事に思いました。また、これから先のことも考えて若い教諭の育て方も勉強になりました。

- しばられた冊子になっていて、分かりやすい。
- じっくりと読むことができた。
- 具体的な実践が掲載されており、大変参考になった。
- コロナ禍の中で制約が多く、子ども、保護者、地域との連携も従来のようにできない中、どの地区の実践も目的が明確で具体的な実践がなされており、刺激をいただき勉強になりました。アンケートや実践交流などで要因や課題を明確にして、地区で校区で小中連携で取り組まれ、即実践できる貴重な発表でした。ありがとうございました。
- 大変読みやすく感じた。
- ”・具体的な事例を含めながら、まとめられたので、今後のことを考えるに参考になりました。
- ・各地区でテーマをもち、発表することで自分の学校での取り組みと比べながら、考えるきっかけとなりました。”
- 教頭としてどのように企画し働きかけるかについて、簡潔にまとめてありよいと思う。
- わかりやすい
- 分科会資料がわかりやすく、端的にまとめられていてよかったです。
- どの実践にも共通したことに、職員指導(ミドルリーダーの育成含む)や家庭・地域・他の機関との連携などが挙げられる。教頭としての働きかけの根幹となるものであることを改めて感じさせられた。
- それぞれの分科会のテーマはどの学校にも当てはまる必要なので、今後の取組の参考になると感じた。
- シンプルでよいと思います。
- 分かりやすくまとめられていた。
- 未来を生きる力を育む魅力ある学校づくりに向けて、どの学校も、この状況の中、工夫した実践をされており、刺激と力をいただきました。
- それぞれの地区の取り組み、教頭の働きかけが丁寧にまとめられていて大変いいと思いました。

(主に冊子について)さらなる願い、提案意見

- こんなに立派でなくてもよい。
- 具体的な資料があると参考になった
- 限られた紙面スペースのため、実践例を具体的に紹介するのは

困難ではあるが、提言内容については、分かりやすくまとめてあってよかったです。

3 惜しい

(主に開催方法について)さらなる願い、提案意見

- 詳細を十分に知ることができないので、よい実践をしておられても、伝わらないことが多いのではないかと感じている。
- やはり、誌面では伝わりにくい。もっと詳しく研究内容が知りたい。
- 今、できる形でやれたことはありがたいですが、貴重な実践が、十分に伝わらないのが残念です。日常の忙しさの中で、じっくり読む時間が取れないです。
- 多大な労力をかけて研究大会を行う必要があるのだろうか。
- 冊子の作成有難うございました。コロナ禍で仕方がないですが、やはり発表をお聞きしたかったと思います。

- コロナ禍では仕方がないが、研究された方々の苦勞を思うと、生の発表ができるよかったです。
- 文面上で、懐かしい先生方をうかがうことができましたが、やはりお会いして、教育について語り合うことができると嬉しく思いました。
- 実際に詳しい実践内容をお聴きしたかった。
- 誌上提案では十分伝えきれないと思います。これだけ力が入った冊子を作っていただけだからこそ、通常開催できないことが悔やまれます。

(主に冊子について)

- 県内の取り組みがわかりとてもありがたいです。
- 素晴らしいご実践ばかりです。実際に発表をお聞きできると、さらによくわかると思います。
- とても端的にまとめられており、どの分科会もわかりやすい内容でした。

- コロナ禍で新しい事に工夫して取組、日々改善、実践されてきた内容が具体的に示され、読みやすくよく理解できた。こうして冊子として手元に届き会えない中でも、他地区の実践を知ることができた。ありがたいです。
- 各学校での取り組みが具体的かつ端的に記載されていた。

4 とても惜しい

(主に開催方法について)

- 誌上発表になったのは、コロナ禍のため仕方ない。冊子も分かりやすくまとめてありよい。
- コロナ禍であるため残念ではありますが最善策だと思います。冊子については少ない中とても分かりやすくまとめられていて大変勉強

- 強になりました。実際に聞くことができたなら更に勉強できたと思うと残念ですが、ありがとうございました。発表の市町の方お疲れさまでした。
- コロナ禍なので仕方がないと思います

(主に開催方法について)さらなる願い、提案意見

- かわいい説明や質問ができるとうい
- やはり、同じ立場の教頭と直接、意見を交わしたい。

(主に冊子について)

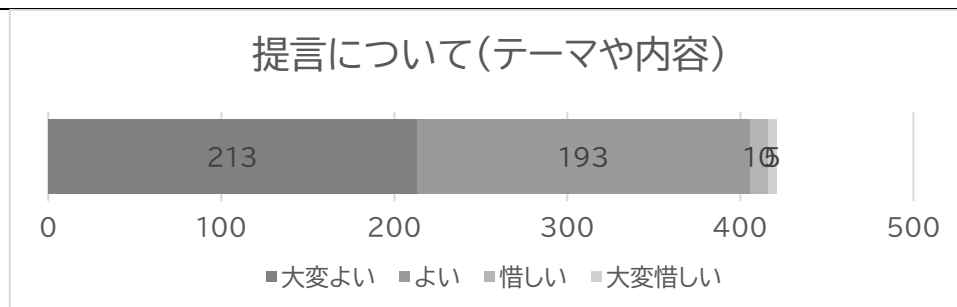
- 各地区の提言の構成が共通していて、とても読みやすく感じました。特に「教頭としての働きかけ」のところは、そこだけ読んで、

自分にできること、自分がやるべきことがよく分かり、参考になりました。

(主に冊子について)さらなる願い、提案意見

- 良い紙で立派すぎる冊子について、学校現場は予算が少なく苦労しているのに、教頭会の予算の潤沢さに驚いている。

提言について(テーマや内容)



1大変よい

- 「生きる力」「魅力ある学校づくり」全ての教育活動につながる良いテーマです。第4分科会で発表してくださった「小中連携・協働」の実践が大変参考になりました。
- 「美濃学」が面白かった。
- 「未来を生きる力を育む」という言葉に、現代の学校教育課題の解決が網羅されていると思うので、大会主題として継続したい。
- 5つのテーマについて勉強することができました。ありがとうございました。
- ICT 担当を ICT 教育を学んだ初任者に任せることで、学校にも初任者本人にもメリットにつながる取組が素晴らしいと思った。
- いじめやこどもの発達、ICT の活用、教員の研修、ミドルリーダーの育成など、現状に応じた課題となっていてよい。
- いろいろな分野や内容に渡っていて、読みやすく取り入れやすい。
- このコロナ禍でできる工夫をいくつかの提言で確認した。その中心に教頭先生がいるように感じた。
- これからの未来を生き抜く生徒のための学校というわかりやすいメッセージが伝わり、良いテーマだと思います。
- これからも時代に即した内容を教えていただけたらありがたいです。
- コロナ、ICT 等、まさに今をとりまく課題から、その中で変わらず大切にしていきたい地域、郷土、そして学校と保護者の連携、どのテーマや内容も大変学ぶことが多かった。各文科会の教頭先生方に感謝します。
- コロナや今日的課題をふまえた実践が良かった。
- コロナ禍であっても、教育を止めるわけにはいかないことを痛感しました。工夫しながら、知恵を出し合って、教頭として、リーダーシップをとらなければ…と、改めて思いました。
- コロナ禍でいろいろな活動が制限された中においては、難しいテーマだったかと思えます。
- コロナ禍での教育についてなど今日的な課題について提案されていて勉強になった。
- コロナ禍での教育活動をどうしていくか、魅力ある学校づくりに継続的に取り組む必要があると実感しました。
- コロナ禍での工夫した実践を知ることができてよかったです
- コロナ禍のなかでも、今日的な課題である内容やタブレット端末の活用など参考にさせていただきました。
- コロナ禍の後、今までと変わった学校の在り方を考える機会となりました。
- コロナ禍の状況下、また今日的な課題に関わる提言であり、大変参考になりました。ありがとうございました。
- コロナ禍の中だからこそ見直せる教育課程や働き方について、具体的な取り組みがあり、参考になった。
- コロナ禍を見据えた提案もあり、興味深いものだった。
- コロナ禍を踏まえての実践がとても参考になった。
- コロナ対応、ふるさと教育など、今の課題をどこの地区でも課題(テーマ)として取り上げ実践を積んでおられるので、「自分の学校では…」と置き換え少しでも実践を積み重ねておりました。
- ささまざまな地域の特性に応じた取り組みがなされていて、大変参考になりました。地域連携や校内組織の活かし方など、自校で教頭としてできることを改めて考え直す機会になりました。
- それぞれのご実践から学び、本校の現状を踏まえ、自分がすべきことを考えることができました。
- それぞれのテーマごとに学ぶべきことがあり、さらに詳しくきたいこともありました。
- それぞれのテーマや内容は、今の自分自身や学校運営において課題と感じられるもので、大変良かった。
- それぞれの地域の特性がよくわかる素敵なテーマだと思います。
- それぞれの地区、学校の取り組みが分かり、大変勉強になりました。自校での実践にも活かしていきます。ありがとうございました。
- それぞれの地区で抱えている課題についての提言で、読みごたえがあった。
- それぞれの地区の研究課題に関する実践がよくわかり、勉強になりました。
- それぞれの分科会からの提言における「教頭としての働きかけ」の内容を、これからの自分の実践の参考にさせていただきたいと思えます。
- それぞれの分科会のテーマが幅広く、参考になることが沢山あった。
- たいへん参考になりました。
- テーマが現状の課題に合っていてとても良かった。
- テーマや内容は、全て喫緊の教育課題であり、今後も研究を深めていく必要があると感じる。働き方改革の推進に関する研究内容があると良いと感じた。
- どこにでもある身近な問題として捉えることができた。
- ”どこも同じ課題に向かって取り組んでいることがわかった。教頭のコーディネート力が必要だと感じた。

- 中でも、特に子どもの発達に関する課題は、いろいろな立場の人と連携していく必要がある。また、授業力の向上は不適応児童生徒の対応でも欠かせないと思った。
- 情報を得たり、自分の学校の実態を掴んだりしながら、自分に出来ることを考えていきたい。”
- とてもよいと思います
- どのテーマにおいても、教頭の役割について考えさせられるものだった。
- どのテーマにおいても、連携がキーワードになってくると感じました。中学校区の小学校との連携、地域資源との連携、他機関との連携…。学校単体で教育を行うのではなく、チームとして教育に当たることの重要性を改めて感じました。
- どのテーマも自校の実践に活かせるものだと思います。特にコロナ禍を経て不適応を起こす子供への対応や小中一貫教育を目指した小学校との連携は自校でも喫緊の課題であるため、参考になりました。まずは校区の教頭で連携を深めることが大切だと思います。
- どのテーマも日常的に、そして今後も大切にしていくべきものばかりである。今、自分が何をすべきかがわかる提言や実践内容である。
- どの研究課題も学校だけでなく、校区の学校間・家庭や地域社会など外との連携が大切で、そのつながりをつくる役割を担っている教頭として、学び続け、継続した取り組みをしていかなければならないと思いました。
- どの市町も大変興味深く、私の学校ならと考えるきっかけになるものばかりでした。ありがとうございました。
- どの市町村にも共有できる内容でした。
- どの地区のどの教頭先生方が一生懸命取り組んでみえ、すばらしいと感じた。
- どの地区の教頭先生方も、多岐にわたる課題に対して日々工夫して取り組んでみえることがわかりました。第3第4分科会では地域とのかかわりについて実践されていましたが、地域人材データを市内小中で共有する実践に、興味を持ちました。大変役立つのではないかと思います。
- どの提案も限られた時間をどう活用するかに苦慮しているのを感じました。
- どの提言についても、教頭としてどのような役割を果たすべきかが明確になっており、勉強になりました。教頭として、様々な場面でコーディネート力が必要なのだと実感しました。
- どの提言も、自校での実践と繋げて考えられる内容でした。「教頭としての働きかけ」を読むことで、何について、どう行っていくとよいか、また、どんなやり方があるのか等考えることができました。
- どの提言も興味深いものばかりであった。
- どの提言も興味深く読ませていただきました
- どの提言も素晴らしい内容です。ありがとうございました。
- ”どの部会からも、コロナ感染症予防、タブレットの活用やリモート授業などが今の学校教育の核となっていることがわかりました。
- 児童生徒が安心して通える学校にするために教頭として、児童生徒に寄り添ったり、職員を支援したり、地域と学校を繋いだりする方法が提案されていて、大変参考になりました。”
- どの部会も自校でも実践すべき内容のものばかりで大変勉強になりました。特に ICT の活用については、若手の活躍を前面に押し出して組織的な運営をされていること、小中の交流を教頭がコーディネートして新たな取組をされていることなど、自校でも取り入れていきたいと思いました。ありがとうございました。
- どの分科会でもタイムリーな提言や内容でよかった。
- どの分科会でも今日的な課題に取り組みされており、大変参考になりました。
- どれもが今日的な教育課題であり、どの学校においても実践していくべき内容だと感じた。児童生徒、教職員にとって、より良い学校づくり、魅力ある職場となるよう、提言を受けて取り組みたいと感じた。
- どれも教頭としての喫緊の課題であり、実践の方途や実際の様子を伺うことができた。日々の業務に追われることが多いが、他の教頭先生方の実践に刺激を受け、学校、教職員、子供のために、見直しをもった取組を大切にしたい。
- どれも教頭として大切にしていきたいので、参考になった。
- どれも必要とされる課題であると感じた。
- どんな世の中であっても未来に向けて生きる力が必要だと感じた
- まさに今、求められている子どもたちの育成にふさわしいテーマだと思います。
- やはり、教員の指導力向上が重要課題だと思います。
- 一般化した言葉に隠れた、具体を知りたいと思った。研究発表なので仕方ないが、テーマが違うのによく似た内容になっていた。時間と労力の割に十分伝わらない形態が残念である。
- 一般的な理論や実践にとどまらず、今日的な課題をテーマを設定をして、具体的な実践の掲載がされており、とても参考になってよかったです。
- 引き続き同様の内容でよいです。
- ”可児市の提言である、児童生徒の学校適応促進のための体制づくりについて、大変参考になりました。
- 土岐市の提言の課題にあったように、実践と働き方改革の両立が重要だと感じています。”
- 可児市の適応促進のための体制づくりを拝読し、抱える事案の多さや難しさを感じました。組織で動くことの大切さを学びました。ありがとうございました。
- 課題の捉えとして、どうしても教員の感覚的な捉えが先行する中、今回の提言では調査の結果(岐阜市の STAR 等)からのデータを分析することで捉える形が多くなっていることが素晴らしいと感じました。また、その取組においても、先行研究に裏付けがある取組が行われていることにも驚かされました。これに見習って、今後も生徒や保護者の声(調査)を十分に分析し、そこに対応する指導ができるよう教職員を導くことが需要であると再認識しました。
- 各課題に対して、各学校で工夫された実践が行われており、参考になった。地域を巻き込んだ地域の中の学校を目指して実践を積み重ねていきたい。
- 各課題に対して、丁寧な研究がなされていると感じた。
- 各都市の提言と思いや願いが端的にまとめられており、とても分かりやすかったです。自身の参考にさせていただきます。
- 各研究課題について、教頭としての働きかけが大変参考になりました。
- 各市の提言内容が、とてもよく分かりました。コロナ禍が落ち着けば、その場で協議できると、より実りのある会になるのではないかと思います。
- 各市町村で工夫した実践をしている。
- 各地域での提言が、実態をしっかりとらえて実践されており、分かりやすかった。その地域のこともよく知ることができた。
- 各地区がどのように重点を置いて取り組んだことが伝わる。端的に書いてあり、分かりやすい。
- 各地区で、複数の課題を設定してみえるので、自校に合った実践を学ぶことができ、大変参考になりました。全校児童14人という状況において、地域や地区の他校との連携する為のヒントもありました。来年度の教育課程を構想する上で、参考にさせていただきます。
- 各地区で今日的な課題に取り組みまれ、自校での実践での参考としたい。
- 各地区で多くの教頭先生がテーマをもち、その実現に向けて実践していらっしゃる事がよく分かりました。改めて仕事の幅の広さを実感しました。ただ全てを実践していくことはなかなか困難であり、学校や地域に合ったポイントを明確にしていくことが肝要であると思いました。教頭が優れたコーディネーターでありファシリテーターであることが、学校や地域の教育を高めていく上で重要であることを再認識できました。各発表者の先生方に心よりお礼申し上げます。
- 各地区の教頭先生方の取り組みがよくわかりました。個人的には美濃学や一之宮学の取り組みがいいなと思いました。地域人材が赴任したての教頭でもわかる事や地域全体で関わりをもってもらう事が大切だと思いました。
- 各地区の研究課題とそれに対する提言を知ることで、今自分の働き方に新たな視点をもてるようになったことは、大変貴重なものとなった。
- 各地区の実践がよく分かりました。
- 各地区の実践を拝見する中で、感染予防を図りながら、学びを止めないこと、地域や保護者、関係機関等との連携・協働の大切さ

- を感じました。
- 各地区の特色がよく出た提言で大変参考になり、自分も頑張らな
いと思えました。ありがとうございました。
 - 各地区の熱心な取り組みを読むことができて刺激をいただいた。
自校に活かしたい。
 - 各分科会の提案は、大変参考になる点が多かった。今後の実践
に活かしていきたいと感じた。
 - 各分科会の提案や実践には、参考になる点が多くあり、勉強にな
りました。第1分科会の提案からは、コロナ禍においても、家庭・地
域との繋がりを絶やさないための努力と工夫について、地域人材
の面会相談、分散型の授業参観、職場体験に代わる体験講座など、
ヒントとなるアイデアを多く見つけることができました。第2A
分科会の提案については、学校の組織的な対応と指導力の向上
について、全市を挙げて取り組むことは、学校適応の促進と学校
不適応の児童生徒への対応に効果があると感じました。第2B
分科会の提案にあるような、小中9か年を見通して、同じ校区の小
中学校が合同で授業改善を図りながら学力向上を図る取り組み
は、我が校区でも取り組んでいるところです。第3分科会の提案
にあるように、将来を見越して、地域人材の活用を校区内から市
内へと拡大することは、どの地区でも進めていくとよい取組であ
ると思えました。第4分科会の提案からは、我が地域でも、地域事
務所やまちづくり協議会との連携、協働を図っていく余地がある
ことに気付かされました。第5分科会の提案からは、若手職員を
対象とした、市主催の教職員研修の活用や、教頭による校内研修
など、働き方改革とも両立させながら教職員のニーズに応える研
修を考えていく上で参考になりました。
 - 各分科会の提言から、未来を生きる力を育む魅力ある学校づくり
のために、教頭として職員、子供、地域へどう働きかけていくのか
今一度考え、実践したいと思いました。特に組織を生かした運営
や、教職員の専門性を高める教頭の関わり方など、実践例を参考
にして進めていこうと思います。ありがとうございました。
 - 各務原市教頭会で、6年目までの教職員を対象に短時間の研修
を行って見えるのは、頭が下がります。でも、本校が6年目までの
職員が1名しかいないので、羨ましい限りです。可能性を感じます。
職員の成長が楽しみです。
 - 学ぶところ、今後の参考にしたい実践が多くあった。
 - 学校規模や地域性等、違いはあるでしょうが、分科会として今日
的なテーマが扱われており、勉強になりました。
 - 活動(取組)が具体的に述べられており、その活動の中で教頭は
何をするのが明確になっていたのがとても分かりやすかった。
 - 感染症対策をしながら、子どもの学びを止めない学校運営の在り
方や教頭の役割について、大変参考になりました。
 - 基調提案等、ご準備された先生方のご苦勞を感じる内容でした。
ありがとうございました
 - 喫緊の課題となる内容だったと思いました。勉強させていただきました。
 - 喫緊の課題についてのご提案であり参考になりました。
 - 喫緊の課題についての提案がなされていてよいと思います。
 - 共通の課題への提言で勉強になりました。
 - 教育課程の実践、校内体制づくり、学力向上・授業改善、職員育
成など、さまざまな側面から「教頭の役割」について言及されてお
り、総合的に学ぶことのできる内容でした。
 - 教育環境の整備と教職員の専門性が同時に必要な時期になっ
ていると感じました。
 - 教育環境整備に関する課題についての研究課題で、美濃学の提
言は、コロナ禍であっても地域人材とのつながりを絶やさない取
組みがすばらしいと感じた。
 - 教師の働き方改革を具現するための研究が今後一層重要である
と感じました。
 - 教職員の専門性に関する課題 各務原市の実践は、特に参考にな
りました。リーダー、若い世代を育てる取り組み法についてさら
に詳しく話を聞き、実践したいと思いました。
 - 教頭がふるさとに愛着をもつために人材パンク一覧等を作り、年
間の見通しがもてるようにしたことや ICT 環境を整えるために、
若手が活躍できるようにしくんだり、美濃学をキャリア教育に活か
すための工夫をされたりしたことなど 教頭の役割の大きさを改
めて実感することができた
 - 教頭として、職員とのコミュニケーションや自分の五感をとおして
発見した事実から、様々な立場の方が安全に安心して学校生活
が送ることができるよう、主任等と連携しながら努めていきたい
と感じました。また、常日頃行っている学校長との情報共有は継続
していきます。
 - 教頭としての業務の多さに驚いた。
 - 教頭としての職責を改めて確認する場となった。
 - 教頭としての働きかけが示されており、自分と照らして考えるこ
とができました。
 - 教頭としての働きかけや、各地区の特徴ある教育について知るこ
とができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。
 - 教頭としての働きかけや行動など今後、参考になりました。
 - 教頭としての働きかけを、早速実践できることから始めたいと思
います。特に、学校不適応児童の組織的、継続的対応での具体
的な方途が参考になりました。
 - 教頭としての役割について、テーマごとに網羅されており、大変参
考になりました。具体的には、第一分科会での SWOT 分析から
実践を交流した事例は、今まさに本市の研究でも今年度から取り
組み始めたことと同じであり、とても参考になったこと、第 4 分科
会での、地域学校協働本部の機能的な部分は、自校が、市からコ
ミスクの指定を受けた取り組みを始めたこともあり、目指すところ
の貴重なモデルとして方向性がクリアになりました。ありがとうございました。
 - 教頭の仕事を客観的にとらえることができた。
 - 教頭の役割から考えるとよいです。
 - 教頭の役割について改めて考える機会になりました。
 - 教頭の役割について多角的に捉えられる提言でとても勉強になり
ました。ありがとうございました。
 - ”教頭職といっても、地域により様々なご実践があると知り、勉強
になりました。
 - 私自身、地域との連携や地域人の育成が弱いと感じていましたの
で、ヒントを頂けたと思っています。”
 - 継続的にやっていきたい
 - 現在の課題、話題にふれてありいいと思います
 - 現在の学校における課題が中心となっていて、興味深く読むこ
とができました。
 - 現在の諸課題を網羅しており、良かったです。
 - 現在自校の課題となることについて示唆をいただきました。特に
PTA や地域との連携のあり方、組織マネジメントについて、検討
を重ねていきたいと思いました。
 - 現状の課題に則したテーマ設定となっているので共感できる部分
が多い
 - 広く 6 テーマを設定して、多面的な観点で各研究に取り組んだ資
料を読ませていただき、教頭業務の視点が広がります。
 - 今だからこそ、という意味で、たいへんよかったですと考えます。
 - 今の学校教育および今後の教育の在り方を考える上で、非常に
重要なテーマであり、今回このテーマでよかったですと感じています。
 - 今の時代にマッチしたテーマで、どの部会も研究しやすかったと
思います。
 - 今後、With コロナを考えた時今年度のテーマをより掘り下げて
いくといいと感じます。
 - 今後の次代を担う子どもたちにとって適切な提言です。
 - 今後も提言を心がけて校長の経営方針を助けていきたいです
 - 今後大きく変化する社会が予想されるため、テーマの「未来を生
きる力を育む」については特に重要だと感じました。タブレット端
末が教育に導入され、学校教育も大きく変化している。社会に対
応する力を児童生徒だけでなく、職員も身につけていきたいと思
います。
 - 今大切にすることが凝縮されており、役立ちました。
 - 今日的なテーマでよいと思った。
 - 今日的なテーマで大変勉強になった。
 - 今日的なテーマについての発表で、勉強になりました。
 - 今日的なもので、教頭として自分自身を振り返ることにつながり
ました。
 - 今日的な課題が共有でき大変よい。
 - 今日的な課題が多く、とても勉強になった。これからは生かしてい
きたいと思った。

- 今日的な課題で、興味深いものばかりでした。
- 今日的な課題に照らして、学びの共有に直結したかと考えます。ありがとうございました。
- 今日的な課題に対して、各市町の教頭会がどのように取り組んでいるかが分かった。
- 今日的な課題のもと研究が進められていて大変よいと思います。
- 今日的な課題ばかりで、勉強になりました。
- 今日的な提言で大変よかったと思います。今後、ICT の活用に関わるテーマが増えてもいいのではないかとお思います。
- 今日的課題であり、実践は参考になった
- 今日的課題に即してとても参考になった。
- 今日的課題の取り上げが多く参考になった。具体的な参考事例を知りたいと思っています
- 今日的課題を県内で共有し、具体的な取り組みを通して交流できる機会が得られてありがたい。直接お話を伺うことができれば、さらに教頭としての視点で紙面に現れない働きかけを知ることができると思います。一任職で、ともすればできることが当たり前となりがちですが、その力も成果も微々たるものです。それゆえに地区で組織的に取り組むことで学校を変えていけることを各実践提案より学ばせていただきました。
- 参考となる提言が多く参考になった。
- 参考になりました？
- 子ども、保護者、地域、勤務する職員、すべての方向から「魅力」を感じられる学校を多面的・多角的に学ぶことができるテーマだと感じます。
- 子どもの発達に関する課題についての研究が参考になった。児童生徒へのアプローチと組織の対応力を高めるためのシステムや研修等の仕組みづくりの両面について、教頭としてどう動けばよいのかを学ぶことができた。
- 子どもの発達に関する課題についての実践がとても参考になった。
- 子どもの発達に関する課題の提案が具体的で良かった。
- 子どもの発達に関する課題は興味深かった。
- 子どもの発達に関する提言がとても参考になりました。
- 子ども発達に関する課題については自校でも喫緊の課題であるため、提言内容を今後の対応、特に職員の指導力向上の提言について参考にしたいと感じた。
- 私達が教頭として、考えていかなければならない内容ばかりです。学ばせていただきました。ありがとうございました。
- 持続可能な学校指導、運営体制の構築を進めていくことの重要性を再確認させていただいた。
- 時代の要請に合ったわかりやすいテーマである。
- 自校や、自分自身にも当てはまる課題について具体的な実践が紹介されて、参考になります。
- 上述した通りで、地区で校区で中小連携で取り組まれた実践内容で勉強になり、咀嚼して自校の実践に生かしていきたいと思えます。「未来を生きる力を育む魅力ある学校づくり」は、コロナ禍や IT 化、国際化などが問われていく時代に、子どもたちの 10 年後を見据えた生きる力を育ていかなければならないことに多面的多角的に研究実践できるテーマで良いと思います。コロナ禍の中での研究大会を進めていただき、ありがとうございました。
- 新しい生活様式を当たり前としながら、児童や教師を育てるため、保護者、地域の力を活かすために、教頭同士が協力しあって工夫されている具体策から学ばせていただきました。ありがとうございました。
- 新たに学んだり、自分の実践を見つめ直すことができた内容だったので、よかったです。
- 石神研究部長さんがおっしゃるように、予測不可能な激動のいまだからこそ、未来をいきる子どもたちのために、をキーワードにして、リーダーシップ、チームワーク、新しい価値を生み出す資質能力が必要だと、大変共感します。
- 絶えず「新しい時代」が到来する中で、柔軟に自分自身で道を切り開いていく児童生徒の育成は急務であり、毎年新しく学んでいきたいと感じます。
- 前述の通り、共感できるものばかりであり、励みになった。
- 全ての実戦からそれぞれの取り組みで、教頭が「つなぐ」役割を果たされていることで、それぞれの活動の意義が高まっていることを改めて感じました。
- 他地区の取り組みがわかってよかったです。
- 大会主題「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」に向けて、教頭として何ができるのか。自分が課題と感じている分科会にて、来年度はぜひ同じ立場の先生方と顔を見合わせて話し合いたいと、誌上発表を読みながらより強く感じました。
- 大変、思いを一にすることが提言されており、私も今後精進して、仕事に励みたいと感じました。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。
- 大変分かりやすくとめられており、大変参考になりました。
- 大矢先生すばらしい。
- 第2B分科会の土岐市教頭会における「効果的な学習環境を整える職員指導と教頭の役割」について、専門的な知識と技能を有している初任者に役割を与え、本人もやりがいもち、職場の活性化に繋がったことは良かったと思います。
- 第4分科会の高山市の実践では、学校運営協議会がしっかりと位置付けしており、学校と地域が協力しながら取り組んでおられることがよく分かりました。参考にさせていただきたいと思えます。
- 地域によって実態は様々であるが、魅力あるという上位目標に照らして本校に参考にできることを考えることができるテーマ、発表内容でした。
- 提言の内容に多く話題となっている「ICT 環境の整備」や「若手職員の育成」は、日々の課題であると私も実感します。しかしながら実際は、それらの課題解決に向けて思考したり、具体的な働きかけをするための時間や心のゆとりを確保するに至らない状況です。私自身の仕事に対する意識改革および働き方を改革していかなければならないと、日々反省しています。
- 提言の内容は、いずれも今日的課題の解決に迫るもので、他郡市の実践の様子がよくわかり、大変参考になりました。ありがとうございました。
- 提言を読み、教頭としてあらゆることへの対応が求められることを改めて認識し、責任感も感じました。
- 適切であったと感じています。
- 適当である
- 土岐市小中学校教頭会の提案で、主体的な学びを生み出す家庭学習の手引きの提案が良かった。ぜひ見たいと思いました。
- 内容によっては昨年、今年と取り組みが難しかった点もあったと思いますが、できる範囲で続けていくことが大切だと感じます。
- 内容は、今の教育課題に沿ってよい
- 内容はこれでいいと思います。
- 日頃課題となっている内容がテーマとなっています。学校や地域により実態や課題が異なりますが、とても参考になりました。今後、大量退職、ミドルリーダーや若手の育成など、組織としてどのように学校経営をしていくのかを考えた時、誰が所属していても大丈夫な学校づくりをしていく必要があると思えました。第 4 分科会の地域との連携・協働や第 5 分科会の組織運営については、参考になる部分が多くあり、来年度に向けて、取り入れていこうと思えました。ありがとうございました。
- 日々の教育活動に関しているの、参考となる内容であった。
- 非常にわかりやすく、これからの実践に生かしていこうと感じました。
- 普遍的なテーマも大切だが、教員の人材不足や ICT、働き方改革など学校が直面している課題についての実践を知りたいです。
- 分科会ごとに、内容がよく吟味されていると感じました。大変、ありがたいです。
- 文書に表せない部分の悩みや色々を、ぜひ聞きたいと思えました。教頭がつぶれると学校がまわらない。を実感しました。
- 本校が抱えている問題と重なる内容があり、大変参考になった。
- 本校は、地域と連携した教育活動を目指しています。コロナ禍の中でなかなか思うようにはいきませんが、「魅力ある学校づくり」を保護者や地域に発信する方法を模索しています。感染防止対策を十分に行いながら、学校のできることを広げていきたいと思っています。
- 毎年テーマが継続しているので、積み重ねて学んでいけるのでよい。
- 未来に希望がもてない時だからこそ、子どもたちに生きる力をつける教育の必然がある。また、各学校の特色を生かした魅力あるカリキュラムが必要になる。今日的なテーマだ。

- 未来を見据えているところが良い
- 予測困難な未来を生き抜く子供たちに、必要な力を付けるべきだと日々感じております。適切なテーマであると思います。
- 予測不能な未来を生きる子どもたちが考えられているテーマであるため、とてもよい。
- 様々な児童が増えてくる中で、学校適応促進の分科会が興味があり、やはり地道にこどもと向き合うことが大切だと感じた。
- 様々取り組みの具体について、大変参考になりました。

- 連名でそれぞれの取り組みについてまとめていただくと、どうしてもそれぞれの共通項のみが、こうした場で取り上げられることとなります。もしも可能であれば、1校にクローズアップした、より具体的ある提言から学ばせていただけることを願います。
- 特に第3分科会的美濃学が興味深かった。今後は地域と一体となり、学校教育をますます充実していくことが求められている。ふるさと教育も大切だと捉えている。良いヒントをいただいた。
-

さらなる願い、提案意見

- それぞれ、教頭としての働きかけが具体的に示され、大変、参考になった。若手への指導や ICT に関わる内容については、特に興味深く読ませていただいた。若手に対する指導などは、なかなかうまく進めておらず、刺激となった。また、ICT 推進は、組織的に行わなければスムーズにすまないもので、読ませていただいたことで来年度の組織づくりへの参考となった。それぞれの提言に、

写真や図表など、無理のない範囲であるとありがたい。

- 自校でも課題となっている内容(教職員の資質向上のための研修やミドルリーダーの育成、コミスク等)について、興味をもって拝読させていただきました。さらに詳しく聞くことができたらと思いました。ここが誌上発表での厳しいところですね。仕方のないことですが…。

2よい

- 不適応児童への対応として、校内での効果的な取り組みについて学ぶことができた。これに加えて各家庭や PTA とどのように連携すべきか、保護者への家庭教育の在り方(限界はある)、福祉的支援施設との連携などについて考えていく必要があると感じた。
- 「4. 教頭としての働きかけ」が具体的であればあるほど、参考になる。
- 「教頭としてのはたらきかけ」が、どの提案においても具体的に実践に結びつけられる可能性を感じました。
- 「教頭としての働きかけ」が具体的であり、自校の指導に生かせそうなものもあり、参考になった。
- 「教頭としての働きかけ」が参考になりました。ありがとうございます。
- ・各提言には、「今後の課題」が書かれており、同感したり、新たに考えさせられたりした。課題解決に向けては、工夫が必要であることと時間がかかることがあるが、その方向性を示していただいたことはとてもありがたいと感じました。
- ・未来を生きる力を育む まさに今この状況下で必須のテーマです。
- 5つのテーマ 6つの提言によるテーマでよいと思いました。提案内容が改善に関するものだと興味を持って学べました。
- ICT 機器の実践に関わる内容を詳しく知りたいと思いました。
- PTA 総会で「家庭学習の取り組み」を配布する学校の取り組みについては、家庭学習における学び方の共通理解や学習習慣を学校と保護者が連携して身に付けさせる手立てとして本校でも話題にしていきたいと感じた。
- SWOT 分析など、自校で活かしたい内容が示されていた
- ありがとうございます。
- ありがとうございます。
- いろいろなテーマ提案から教頭としての役割は何なのかを考えました。自校の課題を捉え、優先順位をつけながら進めていきたいと思いました。
- いろいろな分野について書かれてあるところが良い。
- お疲れ様でした
- 喫緊の課題に沿ったテーマだった。
- この課題は学校単体で解決できる課題ではないので、外部の専門機関等と連携を図って解決に向かう道筋が示され、大変参考になりました。
- ”これからの学校経営について、より精選をして行く今がチャンスだと思えます。
- 今後も他校のひらめきを聞きながら、互いに高めて行けるように思います。”
- これから大きく変わりゆく学校教育を考えるに適している
- コロナや働き方改革に沿った内容で参考になった
- コロナ禍、そしてコロナ後の学校の在り方は、これからの学校にとって必ずついてくるもの、それを含めた新しい学校づくりは、良い

提言であると思います。

- コロナ禍であったからこそ進んだ ICT 活用や地域との連携が今まで以上に有効に働いたことを見てとる事ができました。
- コロナ禍であっても工夫して、実践されていて参考になった。
- ”コロナ禍でたくさんの制限がある中でしたが、どの地区も課題に対してできる限りの取り組みをしていることが伝わってきました。
- 教頭としての働きかけの内容がとても参考になりました。”
- コロナ禍での課題や今日的な課題について、教頭としての働きかけが参考になった。
- コロナ禍での課題や今日的な教育課題について、教頭としてどのように働きかけていくことがよいのかを知ることができた。
- コロナ禍でもあり、喫緊的な内容でよかった。
- コロナ禍でも工夫次第で有意義な学校運営が可能であることに気づかされました。
- コロナ禍で様々な見直しがされる中で、内容を再考することが子どもたちにも職員にとっても良い結果に結びつくこと、また、地域との連携と絡ませた取り組みを構築できると良いと思います。
- コロナ禍においても、各学校で工夫して取り組んでいることに、力をいただきました。
- コロナ禍での教育活動には、これまで以上の工夫が必要となります。当たり前であったことがそうでなくなり、新たな考えを持って日々の活動を仕組まなければならない状況です。地域との関わりについて、参考となる取り組みがありましたが、活動の縮小、中止などが多く、今後どのような関わりをもてるかなど、多くの課題を感じています。また、さまざま児童への対応について、教頭の役割は大きくチーム学校の中心としての役割の大きさを改めて感じました。限られた職員でどのように対応していくか、関係職員、関係機関との連携など考え、悩むことが多いです。
- コロナ禍のやりづらいつきに、ありがとうございます。
- コロナ禍の中で、何とか地域や保護者とつながろうと試みる各地区の取組が印象的だった。
- コロナ対応が参考になりました。
- さまざまな問題が毎日起きますが、それらほとんどを把握し、対処しなければいけないのが教頭です。そういう意味において、よいテーマを取り上げていただきました。
- ソサイエティ 5 の波が ICT、GIGA スクールといった形で現場にやってきましたが、その中で学校がどうあるべきか、どのような子供を育ててゆくのか、未来に向けて今やるべきことを確認できる良いテーマだと思いました。
- それぞれ、テーマを受け、地域の特性をふまえた内容で興味深いものでした。自治体によって力を入れているところが異なり、充実した支援体制があるところが羨ましく思いました。
- それぞれのテーマにおける教頭の役割について、自己を振り返りながら読むことができた。
- それぞれのテーマを広義に捉えると様々な切り口があるというこ

とを改めて感じ、大変参考になりました。さらに詳しく知りたいと思うような内容ばかりでした。研究された郡市の先生方、本当にありがとうございました。

- それぞれの学校が自校の実態にあったテーマを選んでの実践でよい。
- それぞれの地域で研究されていることをこのようにして発表していただくことは大変勉強になります。ありがとうございます。研究課題にすることは難しいかもしれませんが、現在は教育に関わる状況が刻一刻と急激に変化をしていきます。教頭はアンテナを張りその状況に対応していく必要があります。その効果的な方法や活用についても知ることができればうれしく思います。
- それぞれの地域性を生かした実践であり、大変参考になりました。ありがとうございました。
- テーマが広いので、内容が焦点化されにくいですが、その分多様な内容で、自分の地域や自校の取り組みと対比させて検討や、今後すべきことについて考えることができた。
- とても良いです。
- とても良いと思います。
- どのテーマや内容も今必要とされていることであり、それを教頭という立場でどうするか提言されていてよいと思います。
- どの実践でも「教頭としての働きかけ」が具体的に記されており、視野を広げることに役立つと感じました。
- どの提案も、興味をもって拝見させていただきました。各テーマでの取組の中で、教頭の役割というのは、企画力、連携力だということ改めて感じました。また、小・中学校での連携、各市町での連携の大切さもじっかんできました。ありがとうございました。
- どの提言も限られたページ数の中、大変わかりやすく集約してまとめられていました。提言者の皆様、ありがとうございました。
- どの提言も実践的であった。
- どの分科会の内容も大変参考になりました。特に第4分科会の研究課題は本校でも取組み中であるため、提案していきたいと思えます。
- どれも、当方の実態と重ねて考えることばかりでこれからの実践のきっかけとなると思えます。
- どれもが、現在課題となっているテーマであったため、大変参考になりました。他校の方途と共に、教頭としての働き方が明らかになっていたのも、自校ならどうするかを考えながら、読ませていただきました。
- どれも私の勤務する学校にも当てはまることでヒントがいただけました。
- どれも大切なことだと思いました。
- みなさんの実践を見て、同じことを課題として取組まれていることがわかり、参考にしながら実践していきたいと思いました。ありがとうございました。
- よいと思います。
- よいと思います。個人的には、コロナがおさまったら以前にもどるのではなく、コロナ禍で見つけた新たな活動や取組が、コロナ収束後も継続できるものでありたいです。
- よく考えられたテーマだと感じます。限られた時間と環境の中で作成された努力に頭が下がります。過去にない状況下での取組みに、心より感謝いたします。
- より詳細を知りたいと思った。
- 暗中模索している中で今すると良いことを考える参考になった。
- 意欲的なそれぞれの実践はともすると、働き方改革と相反してしまう場合もあるかと思えます。両立する方法を探って行きたいです。
- 一つ一つの提案がよくわかりました。
- 何より、生徒を中心に据えた学校経営の大切さが伝わってきた。今後もより良い学校経営の在り方を模索していきたい。
- 課題に即している
- セクションごとに、主題に迫る発表をしていただき、大変勉強になりました。教頭としての働きかけの部分について、具体的に示していただいたことを、自校でも積極的に取組んで行きたいと思えます。
- 各市の教頭先生方の実践から、多くの事を学ぶことができた。
- 各市町の取組の概要がわかり、参考にしたい取組(提言)がありました。

- 各地域における学校運営の喫緊の課題をとらえ、教頭の立場から改善に向けて取り組んだ実践であり、自分の地域でも参考にしたり役立てたりできそうで、ありがたいです。
- 各地域の実情に合った実践を続けることが大切だと感じた。
- 各地区の取り組み等が分かり、今後役立てたいと感じた。
- 各地区の先生方が、適応指導、ICT、ふるさと教育等、それぞれ研究テーマに向かい実践された内容がよく分かりました。本校の実態にあわせ、参考に出来るところは活かしながら、職務を遂行したいと思えます。
- 各提言は分かりやすく実践内容も理解できたが、やはり、質疑ができることさらに実践の具体が伝わり他(各校、現場)に広がると思う。
- 各分科会毎に設定されたテーマについて、計画的に実践された内容であり、県教頭会として共有することで、ノウハウが他郡市まで広がったり、さらによりよい実践に高められたりできると思う。
- 学校としての課題は本校だけではないことがわかった。情報の交流、連携などを推進したい。
- 学校には次々と新しい課題が押し寄せてくる。教頭も絶えず最新の知見をもとに状況判断できるようにしなければならぬということを再確認できた。
- 学校に身近な課題に取り組まれていることが、参考になる。
- 学校の規模など環境などは異なっても、今抱える課題の部分で学ぶことが多くありました。
- 学校の実態に合うものについて、自分の取組に活かしていきたいと思う。
- 学校の実態をとらえ、ニーズにあった教育を推進しておられる教頭先生方に学び、自身も研鑽を積みたいと感じました。ありがとうございました。
- 学校運営協議会との関わり方やどのように支援してもらっているか等(特に第3分科会)が盛り込まれること、ICTの活用法(すべての分科会)が登場すると良いです。
- 学校適応促進のための組織づくりについては、本校にとって喫緊の課題となっており、興味深く読ませていただきました。
- 宮小中の取り組みは、コミュニティスクールのあり方としても参考になった。
- 教職員の専門性について、働き方改革との両立で日々迷うこともあったので勉強になりました。
- 教頭として、どんなことをされたかということが具体的に示されていてわかりやすかったです
- 教頭として、考えていくべき課題ばかりであり、自分や自校に置き換えて見直したい。
- 教頭として、取り組むべきことは多岐にわたるが、テーマごとに整理されていてよい。
- 教頭としての働きかけが改めて、認識できて勉強になりました。
- 教頭としての働きかけが明記されており、勉強になった。
- 教頭としての働きかけや役割が具体的に示された提案は、参考になる。しかし、抽象的でわかりにくい内容のものもあった。
- 教頭としての役割を明確に示されており、学ぶことが多くありました。ありがとうございました。
- 教頭としての立ち位置の参考になりました
- 教頭として学校や職員、児童生徒のためにしていることはさまざまあると改めて感じました。ICTが入ってきてまた大変です。授業改善もまとめられ、一方で適応支援も複雑です。だからこそ、教頭の役割は、職員の思いにこ耳を傾け、職員と一緒に対応して時間外勤務45時間を越さない働き方改革を進めていくことが一番大切だと思います。行事や事務仕事の精選は今がチャンスと思ってあと少し自分がんばります。素敵な冊子をありがとうございました。
- 教頭として現状でやれることをまとめることは、これからの学校経営の役に立つのではないかと思います。まとめられた先生方にはとても感謝しています。
- 教頭の役割として、適切であると考えます。
- 教頭の役割は、やはり接着剤やジョイントだと感じました。また、当たり前ですが、何のために、何をするのかを明確にすることが大切だと改めて感じました。
- 教頭の役割は多岐にわたると改めて実感した。その中で、何に比重を置き、具体的にどのように取組み、どんな成果を取めるの

- か！という舵取りができる自分でありたいと感じた。
- 教頭の役割上、大切なテーマに絞られており、それぞれの取組について端的にまとめられていたため勉強になった。取組まれた教頭先生方に感謝したい。
 - 教頭職の立場としては、子どもをよりよく育てるためには職員の資質をいかに上げるかが大切になると再認識しました。
 - 近年の課題に教頭目線で考えられていて、参考になりました。
 - 近年の学校事情を更に踏まえたい
 - 研究を進めていただき、執筆していただいた先生方、ありがとうございました。
 - 研究課題が、地区別に分かれており、網羅できていてよい。
 - 研究課題から、各市や学校に適した内容や課題、取組を選択して、研究に向かう事ができているので、このままでよいのではと思う。
 - 県下、各地域での研究が、コンパクトにまとめられていて参考になりました。より具体的であることを期待します。
 - 現学校課題に即したものである。
 - 現在の学校の課題について、具体的な取組みが提案されていて、分かりやすかったです。
 - 現在の教育課題として必要不可欠なものであると捉えます。
 - 現在の諸問題に対応するテーマで良いです。この状況下で何ができるのかを精一杯考えていくことが、自校での実践にもつながり良いと思います。
 - 現在問題となっているテーマばかりでよかったです。
 - 現状即した提案だと感じました。
 - 個人的には土岐市の取組みが大変参考になりました。文字ばかりの文書は読んでいてつらいです。
 - 今後の指針の参考になった。
 - 今後も継続して研究をふかめたい。
 - 今日的なテーマでありがたかった
 - 今日的なテーマでよいと思います。
 - 今日的な課題が取り上げられていていいと思います。
 - 今日的な課題でよいと思いました
 - 今日的な課題としての「生きる力」を育むために、学力(学び方の課題)や人との関わり方(不登校対応)、自己を見つめる力(自己肯定感の育成)など様々な側面からの取組があり大変勉強になりました。学校や地域の実態もあることなので可能不可能はあると思いますが、自校に生かすという視点でこれらの実践を読ませていただきました。やはり教頭はどんな活動においても要となる立ち位置であることを実感し、身が引き締まる思いでした。
 - 今日的な課題について、各校のご実践が分かりやすくまとめられており、たいへん参考になりました。
 - 今日的な教育課題にあっていると思います。
 - 今日的な内容でよかったです。
 - 今日的な課題が取り上げられていること、教頭としての働きかけがまとめられているところがよい。
 - 今日的な課題についての研究であり、大変参考になった。
 - 今日の内容でよい
 - 今必要なテーマだと感じた
 - 最近、「子供の発達に関する課題」というのが現場では大きな比重を占めているように感じます。本校では特に感じます。正直家庭での役割を、学校等が担っているようにも感じます。可児市広陵中学校(他5名)の提言内容については、共感できる部分や学ぶ所が多かったです。不適応児童生徒への個別対応力の向上は、すべての職員において必要だと思います。(これまでの自分を振り返って反省です)今後の指導に活かしていきたいです。
 - 参考にして学校教育の現場に生かしたいと考えます。
 - 子供の発達に関する課題と提言について、とくに共感した。対応のために、職員と教頭にゆとりが必要である。職員の定数見直しがなされるべきだと思う。
 - 市単位でまとめたことにより、執筆者の負担も少なくなっていると思う反面、伝えたい内容が薄くなっているように思います。ただ、市内での連携という視点から学ぶことができました。思い切って、執筆を一人に任せると方法の一つと考えました。よろしく願います。
 - 時代にあっていると思います
 - 自校に取り入れられることを、探りながら読むことができた。
 - 自分が課題としていることが、いずれかには含まれていると思います。
 - 自分の実践の参考にしたいと思います。
 - 自立・協働・創造は、VUCAの時代におけるキーワードであり、大切だと思った
 - 失敗した例もあるとさらに学べると思います。ありがとうございました。
 - 実際に集まって、協議できるとよかったですね。いろいろな関わりが大切だと思います。
 - 実践を、まとめるのが、大変だったと思います。お疲れ様でした。
 - 実践をもとに書かれているものが多く、参考にしやすい
 - 実態に応じた対策が取られている。
 - 社会情勢を反映したテーマや学校で抱える課題など、とてもタイムリーなテーマや内容である点がよいです。
 - 充分だと思う。
 - 小中連携、地域連携の大切さと大変さを実感しました。
 - 職員をつなぐ取組は、教員の資質向上と共に、心の安定につながり、重要な取組であると感じました。
 - 色々な提言の課題に述べられているように、実践と働き方改革との両立が重要であると感じます。
 - 色々な分野にわたる提言を読むことができ、大変参考になりました
 - 人、時間、予算がないなかで、何を削減して今日の教育課題(今回、提言していただいたこと)を達成していくのか深く考えるところがありました。
 - 生きる力を育むために様々な方途を学べるので、よいテーマだと思います。
 - ”生徒指導や教育支援の面で同じ悩みを持つ教頭先生は多いと思うので、子供の発達に関するテーマは、もっと知りたいと思ったし、勉強になる。
 - 可児市の発表内容の不適応児童生徒への個別対応力を高めるために、どんな研修をしたのか知りたいと思った。”
 - 全国統一の中で取り組まれており、適切だと思います。
 - 他市の取組が参考になった
 - 多くの地区で課題になっていることは、比較的共通していると感じますが、取組みについては異なる点があります。その中で、自分の勤務している地区や学校で実践したいことを見つけることができました。
 - 多岐にわたる今日的課題に対する教頭としての働きかけが、とても参考になった。今後の実践に生かしていきたい。
 - 多様なテーマで参考になった。
 - 大変参考になりました。
 - 大変参考になる提言があり、学ばせていただきました。
 - 大変勉強になりました。
 - 第3分科会の提案は、地域の実情実態に応じた実践がなされているだけでなく、もともとある学習に繋ぐことで無理なく進められているのがよい。見直した上で必要な人材や情報を得て広く共同・活用するスタンスが、コロナ禍や働き方改革の中では相応しいと感じられた。
 - 担当として発表された地区の教頭の皆様は本当にお疲れ様でした。
 - 端的にまとめられていて良いです。各務原市の研修システムや、可児市の教育相談 Co 等の役割の明確化が特に参考になりました。
 - 地区により、具体的な提案参考になります。
 - 丁寧な発表で勉強になりました
 - 長期的な課題である。
 - ”提案された市町村の教頭先生、本当にありがたいばかりです。
 - 市町村で、まとめるかたちでの発表となるのでどうしても、一般化した内容になってしまう。”
 - 提言がわかりやすくまとめられていて参考にしたいと思いました。
 - 働き方改革を進めつつ、魅力ある学校にすることに賛同します。将来、教員になりたいという子どもを増やしたいものです。
 - 同じ課題に取り組む実践があり参考にまりました。
 - 特に第3分科会(教育環境整備)の、美濃学についての提言は、本校の総合的な学習の目指すものと類似していて参考になった。
 - 特に地域との連携の持ち方などなかなかかむずかしい状況の中、特

- 色を知り、生かす取り組みの実践が大いに参考になりました。
- 特に美濃学が興味深い。歴史や自然だけでなく、現在地域の第一線で活躍している人から学ぶことは、どの地域でも可能な学習だと思った。小中連携してふるさとについて学ぶことは大変今あることだと思う。
- 日頃のヒントになるようなことが多くあり、とても良かったです。焦点を絞って、詳しく提言をしてもらえたら、より嬉しいです。
- 分かりやすくまとめていただいていると思います。
- 分科会 2A の教頭としての働きかけについては大変参考になった。
- 分科会ごとの実践から学んだことを今後の実践で生かせるようにしていきたい。
- 未来をどの辺りだと考え、学校の魅力が何であるかについて考える機会になりました。資料でなく、実際に集まって交流できるとよいと思いました。ご提案ありがとうございました。
- 未来を生きる力を育むことの必然性について理解できる内容でし

- た。
- 未来を切り拓く力を育むために、「自立、協働、創造」は今の時代にそうものだと考えます。
- 魅力ある学校、魅力ある授業
- 魅力ある学校づくり、という文言にとっても共感します。現実には「達成できた！」となかなか言うことはできませんが、その達成を目指して努力し続ける必要があると感じた。
- 予想すらできなかった事態が起こっている中、やはり、未来を生きていく子どもたちには、夢や希望、そして、活力をもって生きていくって欲しいので、良い提言だと思います。
- 良いと思います。
- 良いと思います。
- 良いと思います。
- 臨場感のある提言で役に立った。

さらなる願い、提案意見

- どのテーマも教頭職において必要なものと思います。誌上発表はプレゼン発表に比べ、得られる情報に限界があるため、その点が残念です。
- どの提言も地域の実態に応じた実践がされており、参考になった。「4 教頭としての働きかけ」については、もう少し取組の具体が知りたい。
- 一つ目の回答と矛盾するかもしれないが、会場での発表後の話し合いに意味があると感じている。学校規模によって実情が違いすぎるため、郡市で発表としてまとめるのは苦しさを感ずる。紙面だ

- けでは、当たり障りない内容になってしまう。
- 各市町村の取組については分かったが、生の声を聞きたかった。
- 交流ができないことが残念です。
- 子どもの発達に関する課題は、最近多様化してきているので、大変参考になる。より具体的なお話を伺う機会があるとよいと思う。
- 様々な研究課題が載せられており、よい。ただ、紙面には、限りがあるので、具体が知りたいと思う実践もあった。

3 惜しい

- コロナ禍の大会ではあるが、地域の特色を活かして取り組まれており、大変参考になりました。
- もうこのような定形フォーマットからは脱却したい。タイムリーな事例、教頭としてすべきこと、うまくいった事例、など心底議論したり考える場にしたい。せっかくコロナでリセットできる機会を得た今、以前に戻す選択をする教頭会なら負担になるだけ。改革を期待します。

- 昨年度までの第6分科会のテーマは引き続き、実践したいテーマでした。
- 取組の内容が分かり参考になりました。
- 多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。
- 知りたい事が取り入れてあり学ぶことが多い。
- 非常に身近にある提言をされていたため、これからの学校経営等に参考になりました。

さらなる願い、提案意見

- あまり目新しさを感じない。
- データを示すことのできるものは示さないと、本当に効果があったのかよく分からない。
- 確かにその通り、と思うことが多くあり同じように取り組んでいる学校があって、安心した反面、一つ一つの具体が、分かりにくい。やってきたことはわかるが、「どのように」取り組まれたかの具体が知りたかった。どうしても知りたければ自分からその地区の学校

へ問い合わせればよいのですが…。できるかどうかはわかりませんが、発表を動画にして QR コードで読み取り、視聴できたらいいと思う。どの分科会も試聴できたら、なお一層研究が広まると思う。コロナ禍だからこそ、ICT を活用した大会にできるのではないだろうか。

4 とても惜しい

- 学校適応は切実な課題です。参考になりました
- 今後も研究の積み上げができるテーマや内容だと感じました。
- 第 2 分科会研究課題子供達の発達に関する課題は本校においても喫緊の課題であったスクールカウンセラーや教育相談との連携について教頭が中心になって組織的、継続的な対応をしていく必要性を感じました。
- 分科会のテーマがどれも現場の直接的な課題で、大変興味深か

- ったです。学校運営に教頭としてどのように指示を出し、教職員をまとめていくのか、各テーマにそって実践を知ることができた。幅広くとらえられており、分科会のテーマ設定が日常的な課題とマッチして良かった。
- 理路整然とされとてもよかったです。勉強になりました。ありがとうございました。